

医師および看護師・医療従事者の負担軽減及び処遇改善に資する計画

1) 病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

ア 医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担

項目	計画内容	担当部署
● 医師と看護師等の医療関係者との役割分担	▶▶食事変更オーダー代行、経腸栄養メニュープランニング	栄養科
	▶▶栄養指導の介入（整形外科・外科）	栄養科
	▶▶口腔ケアの介入（3階病棟）	栄養科
	▶▶3階病棟薬剤師の配置	薬剤科
	▶▶手術機器管理のタスクシフト（手術室看護師から臨床工学科へ）	臨床工学科
	▶▶リハビリセラピストによる喀痰吸引の実施を目指す。研修制度の策定・実地研修	リハビリ科・看護部
	▶▶電子署名システムの活用	リハビリ科
● 医師、看護師等の医療関係職種と事務職員等の役割分担	▶▶手術前IC説明時の動画導入（膝手術）	医事課
	▶▶DPC代行入力の拡大（内科・放射線科）	医事課

イ 医師の勤務体制等にかかる取組

項目	計画内容
● 医師事務作業補助者の配置	▶▶医師事務作業補助者の配置と業務拡大
● 短時間正規雇用の医師の活用	▶▶所定労働時間32時間以上をもって正規雇用（常勤雇用）とする
● 交代勤務制の導入	▶▶救急二次輪番の当番日が日曜・祝祭日等、休日に当たる場合、日勤・夜勤交代制（選択制）
● 病院勤務医の勤務時間の把握	▶▶勤務時間・残業時間の把握
	▶▶連続当直を行わない勤務シフトの作成・当直回数の把握
	▶▶当直翌日の通常業務にかかる配慮実施
	▶▶業務量や内容を把握した上で、特定の個人に業務が集中しないような勤務体系の策定 ・勤務体系表作成（外来・手術・病棟・研究日）、外来担当医表作成、日勤帯救急当番表作成、研究日一覧作成、当直表作成
● 職員等に対する周知	▶▶院内掲示
● 役割分担推進のための会議	▶▶業務改善委員会・働き方改革委員会の設置

2) 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

項目	計画内容	
◆ 業務の改善	看護師以外の職種とタスク・シフトの推進	救急救命士の急性期病棟夜勤導入 看護補助者の電子カルテ入力（実施記録）業務の検討
	急性期病棟の負担軽減	入院基本料1の届出（または看護職員夜間16対1配置加算）の検討と準備
	TQC/QC活動を通じた業務改善の実施	各部署 1 件以上の業務改善の実施
◆ 働き易さ 職場環境	残業時間の削減（1人あたり残業時間4.5H/人以下）	No残業DAYや早出・遅出勤務の強化、希望に沿った勤務形態対応の検討
	院内保育園の質向上	祝祭日の預かり可能日を確保、夜勤明け預かりやリフレッシュ保育の再開
◆ 他部門連携	デジタルデータを活用した情報共有の仕組みづくり	GEコマンドシステムの導入と活用
	薬剤管理業務に係る負担軽減	内服管理方法の見直し、仕組みの改善
◆ 教育	職能強化・キャリアアップ支援	介護教育委員会の設立、看護補助者の教育体制の検討
		オンライン教材や通信教育を用いた学びやすい環境の提供（利用率向上）
		研修参加支援のための部署配分予算増額 ローテーション研修（時間内）導入による視野拡大や経験値の拡充
◆ 福利厚生	利用しやすい福利厚生の仕組み提供	2023年度業者変更の実施